



人と、地域と、未来をむすぶ

十六銀行

十六アジアレポート 2026年9月号

JUOKU ASIA REPORT SEPTEMBER 2026

2026年9月1日 発行 十六銀行 ソリューション営業部 海外サポート室

目次

1. タイ:「タイから見たインド —戦略的パートナーシップに発展する両国—」

バンコク駐在員事務所 松岡修

2. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

1. タイ:「タイから見たインド

—戦略的パートナーシップに発展する両国—

バンコク駐在員事務所 松岡修

■ はじめに

タイとインドの関係は、過去から続く宗教的・文化的な結び付きを基盤に、現代では経済・観光・技術交流へと広がっています。実際にタイに駐在していると、タイを拠点にインドへ進出する日系企業も多く存在しており、両国の密接な関係がうかがえます。

本稿ではタイ駐在員の視点から、最近のタイとインドの関係についてお伝えします。

■ タイとインドの距離

タイの首都バンコクからインド主要都市への距離は、直線で約 2,400～3,000 キロメートルに及びます。例えば、バンコクからデリーやムンバイまでは飛行機でおよそ 4 時間から 5 時間の移動時間となります。地理的には遠く感じられますが、航空路線の充実により両国間の往来は近年ますます活発化しています。

■ 宗教的・文化的な結び付き

タイとインドは、宗教や文化を通じて古代から深い結び付きを築いてきました。仏教は、紀元前 3 世紀頃にインドから東南アジア地域へ伝わったとされ、13 世紀以降に定着した上座部仏は、今日ではタイ国民の大多数が信仰する精神的基盤となっています。タイの寺院建築や仏像の様式にはインド美術の影響が色濃く残り、両国は深い文化的親和性を有しています。

また、仏教だけでなくヒンドゥー教の神話や儀礼もタイの精神文化に深く溶け込んでいます。王室の儀式や都市名にはヒンドゥー由来の要素が多く、叙事詩「ラーマヤナ」はタイで「ラーマキエン」として再解釈され、舞踊や演劇の題材として広く親しまれています。こうした文化的な受容は、芸術や文学の発展にも寄与しました。タイとインドの文化的結び付きは、地理的な距離を超えて両国を繋ぐ架け橋であり、今後も両国の交流を支える強固な基盤となり続けるでしょう【写真 1】。



【写真1】タイの有名な観光地ではヒンドゥー教の「ガネーシャ」(ヒンドゥー教に登場する象の頭をした神様)が人気

■ 戦略的パートナーシップを結ぶ両国

タイとインドの経済的結び付きは、近年ますます強まっており、2024 年度には、タイの対インド輸出額 118 億米ドル、対インド輸入額 57 億米ドルと、二国間貿易額が約 175 億米ドルに達しました【図 1】。主な貿易品目をみると、タイはインドから宝飾品や自動車部品を輸入し、パーム油や電子部品を輸出するなど、互いの強みを補完する関係が築かれています。

両国の関係強化の背景には、双方が推進する外交・経済政策が存在し、貿易・投資・観光・技術分野で戦略的パートナーシップを築いています。インドの「Act East」政策とタイの「Act West」政策は、インドが東へ、タイが西へと外交の軸を広げる政策であり、両国の経済・安全保障・文化交流を相互補完する戦略的枠組みです。

【図1】 2024年度 タイの主要国・地域別輸出入額

(単位:100万米ドル、%)

国・地域	輸 出				輸 入			
	2023年	2024年			2023年	2024年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
日 本	24,594	23,286	7.7	△ 5.3	31,195	28,735	9.4	△ 7.9
中 国	34,173	35,243	11.7	3.1	70,827	80,608	26.3	13.8
ASEAN	67,095	70,165	23.3	4.6	48,543	50,463	16.4	4
E U	21,959	24,205	8.1	10.2	19,754	19,328	6.3	△ 2.2
米 国	48,353	54,956	18.3	13.7	19,307	19,529	6.4	1.1
インド	10,116	11,755	3.9	16.2	5,925	5,697	1.9	△ 3.8

出典: JETRO「タイの貿易投資年報」より一部抜粋

■ タイ企業のインド進出

こうした国家レベルの戦略的枠組みを背景に、タイ企業のインド進出が近年加速しています。人口14億人を超える巨大市場と「Make in India」政策による製造業振興を追い風に、食品加工、建材、エネルギー、金融など幅広い分野でインドへの投資が拡大しています。代表的な例として、サイアム・セメント・グループ (SCG) は、2022年にインド建材大手と合弁会社を設立し、グジャラート州に軽量気泡コンクリート工場を建設しました。食品大手チャロン・ポカパン (CP) グループは、現地で食肉・水産加工工場を展開し、急成長する中間層の消費市場に対応しています。エネルギー分野では、PTTグループが石油化学プラントや電気自動車 (EV) 関連事業を展開し、再生可能エネルギー分野への投資も視野に入れています。さらにバンコク銀行はムンバイで金融サービスを提供し、インド企業の資金調達や貿易促進を支援しています。

背景には、中国依存を避ける「チャイナ・プラスワン」戦略や、インド州政府による積極的な外資誘致があります。グジャラート州やタミルナドゥ州は特に投資環境整備に力を入れており、タイ企業の進出を後押ししています。今後は EV、再生可能エネルギー、物流インフラなど新分野での投資が拡大するとみられます。タイ企業のインド進出は両国の経済連携をさらに強化し、アジアの成長を牽引する原動力となりそうです。

■ 最後に

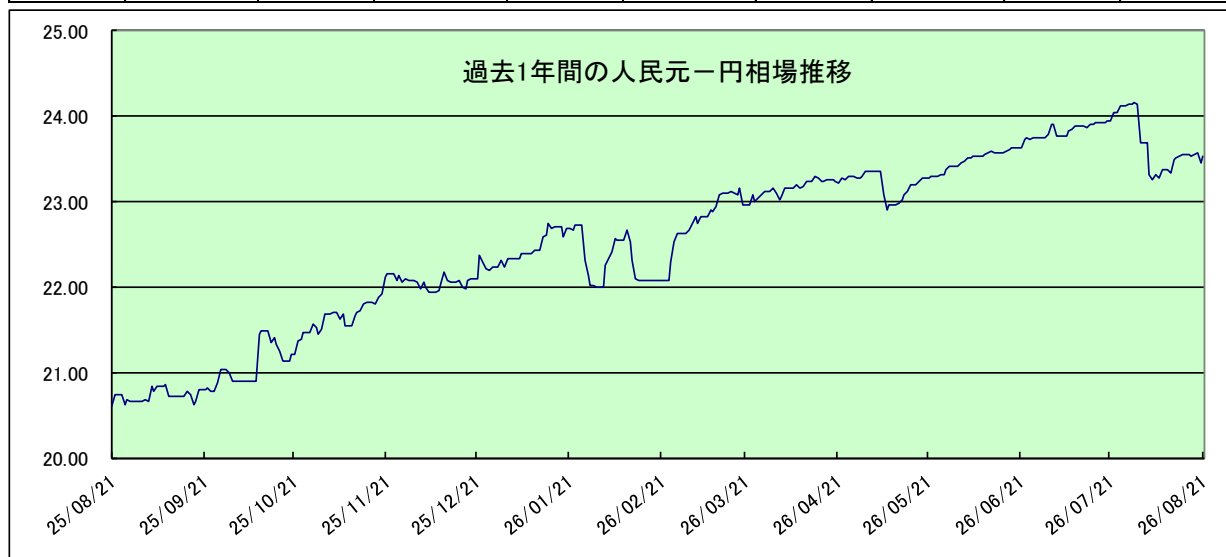
インドは仏教の発祥地としてタイの精神的基盤に大きな影響を及ぼしており、両国は歴史や価値観の共有を通じた深い文化的親和性を有しています。近年は ASEAN・インドの経済連携協定を背景に二国間貿易が拡大しており、繊維や宝飾品などの伝統的産業に加え、IT や新エネルギーなど次世代の領域においても多角的な経済連携が深化しています。タイにとってインドは「精神的な源流」であり、「未来の経済的パートナー」としても存在感を強めています。タイを拠点とする日系企業にとっても、この両国連携の波を活用した「タイ+インド」の視点が、今後のグローバル展開における新たな鍵となるでしょう。

2. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位: 1 人民元当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	24.13069	7月28日	24.13885	7月29日	24.15867	7月30日	24.13302	7月31日	23.69500
8月3日	23.31111	8月4日	23.24770	8月5日	23.31002	8月6日	23.27963	8月7日	23.36940
8月10日	23.32797	8月11日	23.49238	8月12日	23.50287	8月13日	23.52498	8月14日	23.55491
8月17日	23.53661	8月18日	23.53938	8月19日	23.55990	8月20日	23.45436	8月21日	23.52056



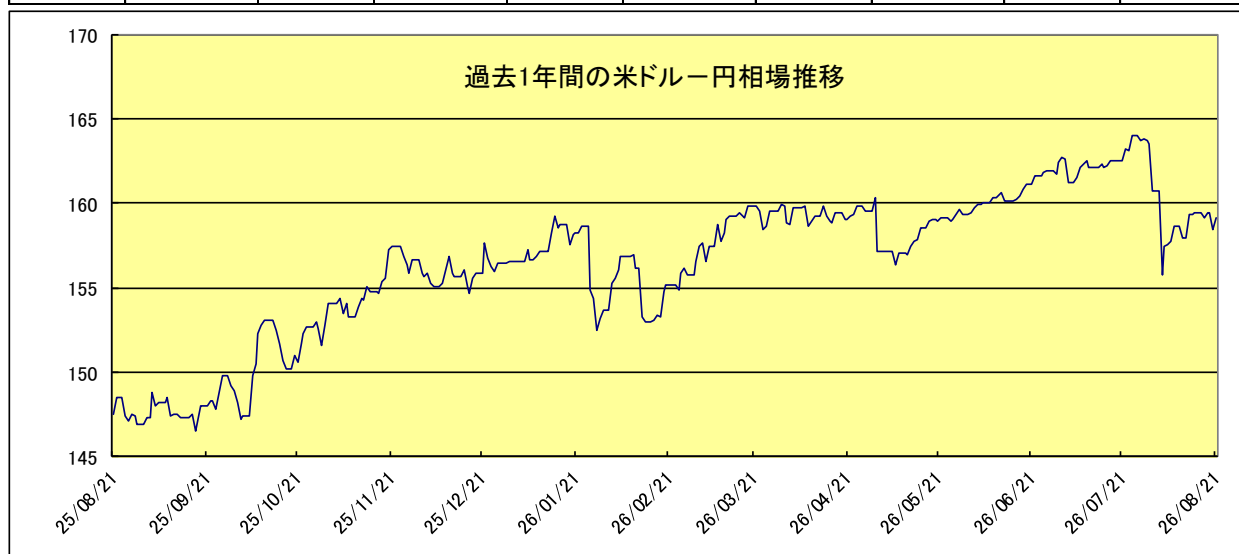
上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。

そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1ドル当たりの日本円)

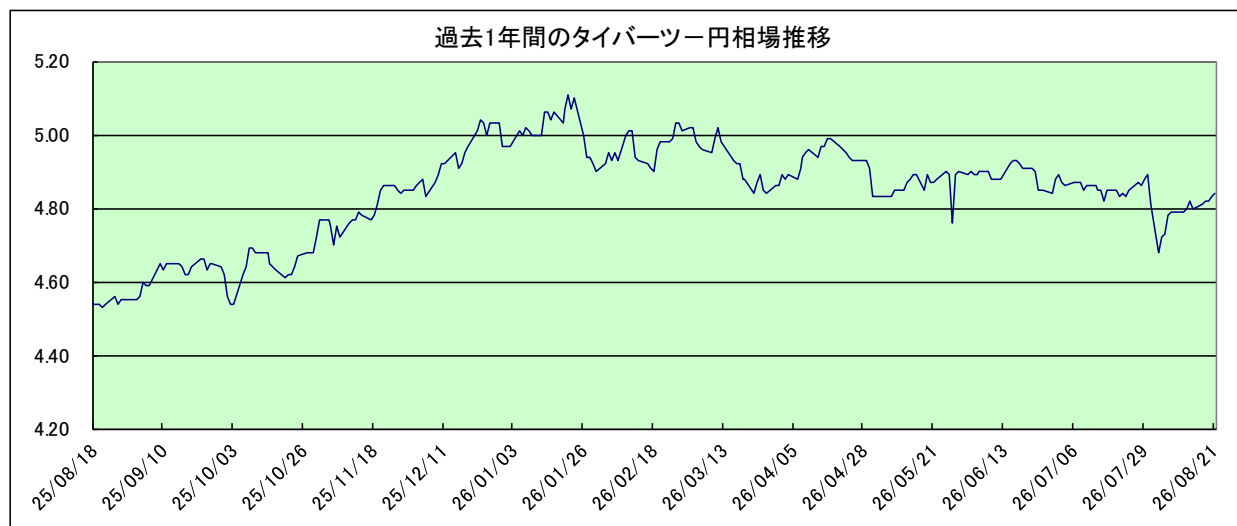
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	163.69	7月28日	163.82	7月29日	163.69	7月30日	163.51	7月31日	160.72
8月3日	155.79	8月4日	157.42	8月5日	157.56	8月6日	157.79	8月7日	158.64
8月10日	157.98	8月11日	-	8月12日	159.39	8月13日	159.40	8月14日	159.42
8月17日	159.11	8月18日	159.50	8月19日	159.43	8月20日	158.48	8月21日	159.14



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1バーツ当たりの日本円)

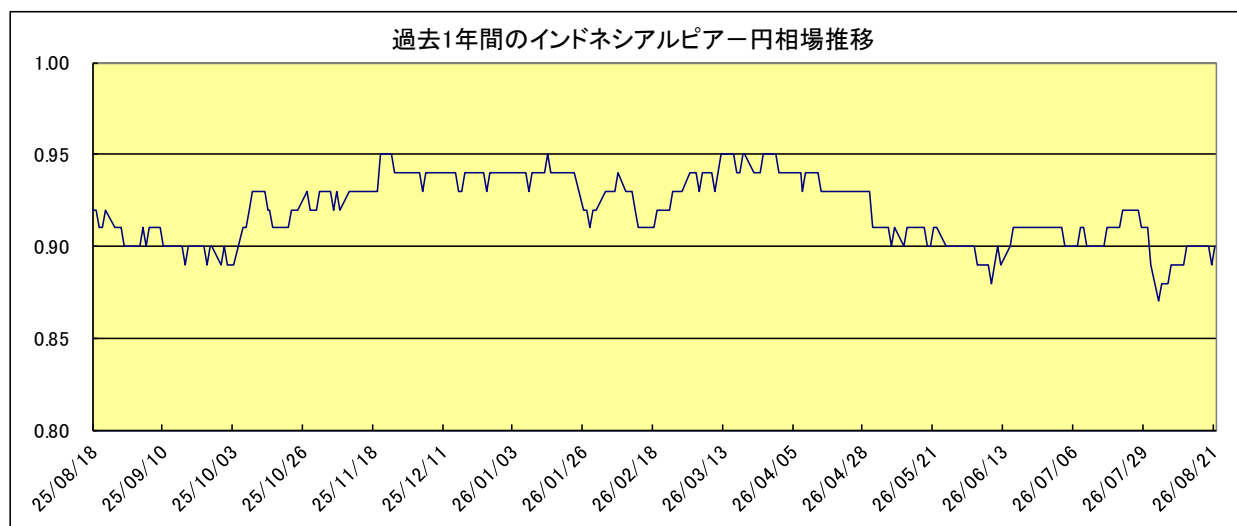
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	4.8700	7月28日	4.8600	7月29日	4.8800	7月30日	4.8900	7月31日	4.8100
8月3日	4.6800	8月4日	4.7200	8月5日	4.7300	8月6日	4.7800	8月7日	4.7900
8月10日	4.7900	8月11日	-	8月12日	4.8000	8月13日	4.8200	8月14日	4.8000
8月17日	4.8100	8月18日	4.8200	8月19日	4.8200	8月20日	4.8300	8月21日	4.8400



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100ルピア当たりの日本円)

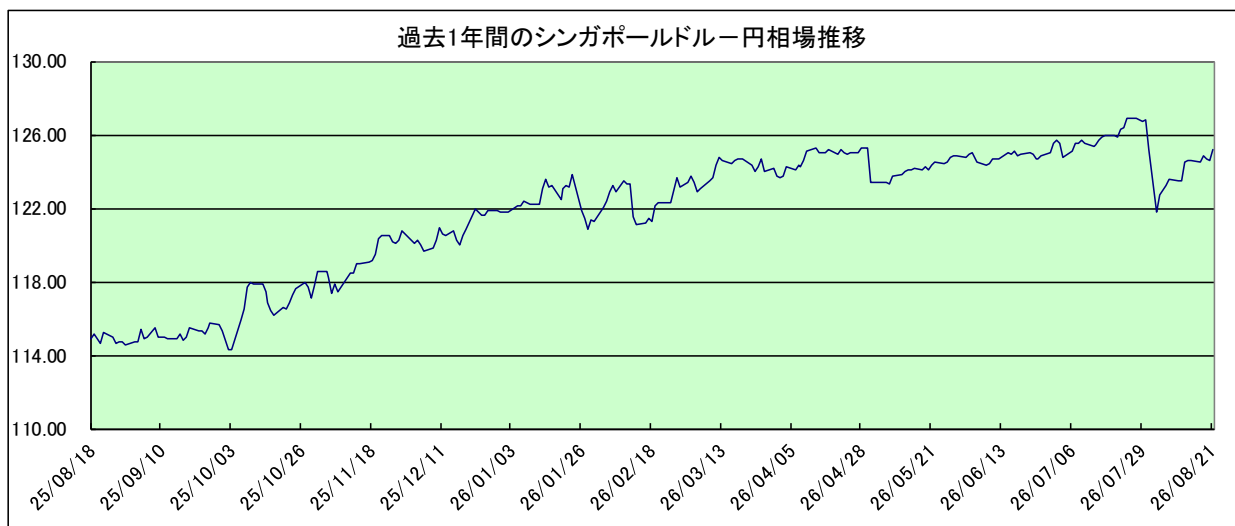
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	0.9200	7月28日	0.9100	7月29日	0.9100	7月30日	0.9100	7月31日	0.8900
8月3日	0.8700	8月4日	0.8800	8月5日	0.8800	8月6日	0.8800	8月7日	0.8900
8月10日	0.8900	8月11日	-	8月12日	0.9000	8月13日	0.9000	8月14日	0.9000
8月17日	0.9000	8月18日	0.9000	8月19日	0.9000	8月20日	0.8900	8月21日	0.9000



(5) シンガポールドル＝円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	126.8800	7月28日	126.7700	7月29日	126.6900	7月30日	126.8200	7月31日	125.2300
8月3日	121.7500	8月4日	122.7600	8月5日	122.9500	8月6日	123.2300	8月7日	123.5900
8月10日	123.5300	8月11日	-	8月12日	124.4900	8月13日	124.5600	8月14日	124.5600
8月17日	124.4900	8月18日	124.8600	8月19日	124.7100	8月20日	124.6200	8月21日	125.1600



(6) ベトナムドン＝円為替相場(参考値)

(単位: 1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	6.2100	7月28日	6.2200	7月29日	6.2100	7月30日	6.2000	7月31日	6.1100
8月3日	5.9200	8月4日	5.9800	8月5日	5.9900	8月6日	6.0000	8月7日	6.0300
8月10日	6.0200	8月11日	-	8月12日	6.0900	8月13日	6.1100	8月14日	6.1100
8月17日	6.0800	8月18日	6.0800	8月19日	6.0900	8月20日	6.0500	8月21日	6.0900

